

## II 平成20年度に実施した調査研究及び試験研究課題の一覧

### 1. 技術普及部調査研究課題

課題名	予算	担当	課題名	予算	担当
<b>〈担い手育成及び農業経営〉</b>					
1 集落営農組織の効果的指導手法の確立	県	調整	2) 水稻育苗ハウス等を利用した移動型少量培地耕の現地実証		
1) 経営多角化モデルの策定とその推進手法の検討			3) 新野菜「あすっこ」生産振興のための調査現地実証		
2) 広域連携モデルの策定とその推進手法の検討			<b>〈果樹〉</b>		
2 担い手の効率的・効果的な経営改善支援手法の確立	県	調整	1 技術導入による果樹産地活性化対策の確立	県	果樹
1) 地域の担い手の営農課題の把握と課題整理手法の検証			1) ブドウ「シャインマスカット」の高品質・早期成園化技術の実証		
2) 個別経営における経営管理手法の整備			2) ハウスブドウにおける養液土耕栽培技術の実証		
<b>〈農業環境〉</b>			3) 西条柿の産地活性化対策		
1 土づくりと太陽熱消毒・生物農薬等を活用したIPMの推進	県	環境	<b>〈花き〉</b>		
1) IPMの推進と土壌対策の検討			1 花きの生産性向上技術の確立	県	花き
2) 竹炭を活用した土づくり技術の有効性確認調査			1) トルコギキョウの高品質安定生産技術の確立		
<b>〈農産〉</b>			2) キクの低コスト・省力栽培技術の実証		
1 特色ある米・売れる米づくりの推進	県	農産	3) 鉢花経営基幹品目における新技術等導入と波及		
1) 除草剤を使わない米づくり技術の確立			<b>〈畜産〉</b>		
2) 特色のある「きぬむすめ」の生産拡大			1 畜産の担い手育成と生産振興手法の確立	県	畜産
3) 「コシヒカリ」の品質向上技術の確立			1) 繁殖・肥育農家との連携による子牛育成及び肥育技術向上対策の検討		
<b>〈野菜〉</b>			2) 乳用牛の生産性向上及び生産コスト低減対策の検討		
1 野菜の新技术確立と生産振興の支援	県	野菜	3) 地域資源の活用による自給飼料生産の拡大		
1) 溶存酸素濃度向上による施設野菜の生産安定					

注) 調整：普及調整G、環境：農業環境G、農産：農産技術普及G、野菜：野菜技術普及G、果樹：果樹技術普及G、花き：花き技術普及G、畜産：畜産技術普及G

### 2. 研究各部の研究課題一覧

課題名	予算	期間	担当	課題名	予算	期間	担当
<b>〈戦略的課題〉</b>				<b>〈野菜〉</b>			
① ブドウを核とした新たな果樹複合経営の技術開発と普及	県	19～24	果樹・野菜他	1 イチゴの未分化苗定植による省力育苗技術の確立	県	18～20	野菜
② 島根の『環境農業』推進技術の開発	県	20～23	作物・野菜他	② 露地野菜の環境保全型栽培技術の確立	県	20～23	野菜・特産他
<b>〈水稲〉</b>				③ 水稻育苗ハウスへの環境保全型野菜栽培技術の導入	県	20～23	野菜・土環他
1 水稻新品種育成	県	S46～	作物・特開	4 野菜の品種比較	県	S23～	野菜
2 水稻奨励品種決定調査	県	S28～	作物	5 機能性食品産業化プロジェクト課題	県	19～21	野菜・加工・特開
3 水稻原種・原々種採種事業	県	S28～	作物	<b>〈果樹〉</b>			
4 水稻作況試験	県	S61～	作物	① ブドウ園の葉面積と日射モニタリングかん水制御技術の開発	国	19～21	果樹
⑤ 除草剤を使わない水稻栽培技術の確立	県	20～23	作物・土環他	② 産地化を目指したブドウ新品種高品質安定生産技術の確立	県	16～22	果樹
6 コシヒカリの疎植栽培における省力施肥法	受	19～20	作物	③ 加温栽培‘デラウェア’における効率的な休眠覚醒および生育適温以下で生育促進する台木品種の検討	県	18～22	果樹
7 機械除草と2回代かきの組合せによる水稻の無農薬除草体系の確立	受	19～20	作物	④ 高糖度で着色しやすい赤色大粒系ブドウの育種	県	18～22	果樹・特開
8 バイオキトサンG-1施用による水稻の生育・収量及び葉病に対する効果	受	20	作物	⑤ プルーン・スモモの結実安定・品質向上技術確立	県	19～23	果樹
9 稲民間育成品種評価試験	受	20	作物	⑥ 省エネ低コスト技術の開発	県	19～24	果樹・野菜
<b>〈畑作〉</b>				⑦ 遠隔地環境制御による危険回避技術の開発	県	19～22	果樹・野菜
1 麦類奨励品種決定調査	県	S28～	作物	8 カキ‘西条’の多収穫・高糖度生産技術の確立	県	19～21	果樹
2 大豆奨励品種決定調査	県	S52～	作物				
3 大豆原種・原々種採種事業	県	S55～	作物				
4 斐川町モデルの構築による資源循環型高級植物油生産システムの実証	受	19～21	作物				

課題名	予算	期間	担当
9 ナシ‘幸水’の高生産樹誘導による省力・安定生産技術の確立	県	17～21	果樹
10 果樹品種・系統選抜試験	県	S52～	果樹
<b>〈花き〉</b>			
1 鉢内環境改善によるシクラメンの高品質栽培技術の確立	県	18～20	花き・土環
2 新規導入花きの安定生産技術の確立	県	9～	花き
3 花きの実証試験	県	18～	花き
④ 輸出に対応した地域特産切り花の流通技術の開発	国	19～21	花き
<b>〈病害虫〉</b>			
① 環境負荷軽減に向けた水稻病害虫防除法の確立	県	20～22	病虫
② ブルーン栽培における省力的減化学農薬防除法の確立	国	20～22	病虫
③ ダブルフェロモンと多機能型トラップによるカキ害虫IPMの確立	国	18～20	病虫
④ 環境に配慮したワサビにおける総合的作物管理 (ICM) システムの確立	国	18～20	病虫・特開
⑤ 営農管理的アプローチによる鳥獣害防止技術の開発	国	19～21	病虫
6 病害虫診断事業	県	12～	病虫
7 受託試験事業 (新農薬実用化試験)	受	19	病虫
<b>〈発生予察〉</b>			
① 病害虫発生予察事業			
1) 指定病害虫発生予察事業	国	S16～	病虫
2) 重要病害虫発生予察事業	国	S16～	病虫
3) 病害虫の診断及び生態調査	国	8～	病虫
4) ミバエ類侵入警戒調査事業	国	S16～	病虫
<b>〈土壌環境〉</b>			
1 竹炭によるトマトの環境保全型栽培技術の確立	県	18～20	土環
2 イチジク‘蓬萊柿’におけるボックス栽培技術の開発	県	20～24	土環
3 農地開発地区・圃場整備地区土壌調査	国	S52～	土環
4 理化学分析事業 (依頼分析事業)	県	M41～	土環
5 しまね農業耕畜連携推進事業 (家畜ふん堆肥利用促進システムの確立)	県	18～20	土環
6 土壌有害物質のリスク管理の推進	国	18～20	土環
7 農薬残留確認調査事業 (農薬残留特殊調査)	国	S48～	土環
8 休廃止鉱山対策事業 (土壌汚染対策事業)	国	S46～	土環
9 地力増進地域の改善状況調査	国	13～	土環
10 土壌環境負荷低減対策推進事業に係るモニタリング調査	国	11～	土環
11 酸性雨モニタリング調査	国	S63～	土環
12 農薬ドリフト防止対策試験	国	18～21	土環
13 水田農薬河川モニタリング調査	国	18～20	土環
<b>〈特産開発〉</b>			
1 ソバの新品種育成	県	19～23	特開・作物
② 植物組織の超低温保存法の開発	県	20～22	特開
3 果実品質と耐病性を重視したイチゴのオリジナル品種育成 (オリジナル品種育成試験第2期)	県	20～22	特開
4 ボタンの新品種育成	県	20～24	特開
5 トルコギキョウのオリジナル品種の育成	県	19～21	特開

課題名	予算	期間	担当
6 アジサイ新品種の育成	県	19～21	特開
7 新野菜‘あすっこ’の選抜固定と栽培条件の検討	県	19～21	特開
8 遺伝資源の保存と特性調査	県	20～24	特開
<b>〈加工〉</b>			
1 水稻未熟穂を用いた加工食品開発	県	18～20	加工
2 加工食品の品質保持に関する研究	県	18～20	加工
<b>〈情報〉</b>			
1 ホームページ等を活用した研究情報発信	県	5～	企画
<b>〈経営〉</b>			
1 果樹・特産作物の生産費ならびに経営調査	県	S56～	企画
2 農外企業参入における成立条件と支援方策の解明	県	19～24	企画
<b>〈研究職員提案型研究〉</b>			
1 コシヒカリの外観品質と食味の両立を目指した施肥法の検討	県	20	作物
2 島根県産イチゴの周年供給の可能性	県	20	野菜
3 レーザードップラー振動計 (LDV) によるカキ‘西条’およびブドウ‘シャインマスカット’の成熟予測技術の確立	県	20	果樹
4 ブドウおよびイチジクにおける省力防除	県	20	病虫
5 あすっこの可食期間延長を目指した貯蔵方法の検討	県	20	特開
6 園地流動化における JA 出資型農業法人の動向と対応方策	県	20	企画
<b>〈予備試験〉</b>			
1 水田転作品目としてのモチ性穀類の有望品目探索とその活用	県	20	作物
2 イチゴ‘紅ほっぺ’の8t取り生産モデルの検討除	県	20	野菜
3 カキ‘西条’の長期貯蔵試験	県	20	果樹
4 日没後昇温 (EOD-Heating) 反応を利用した、鉢ものの省エネルギー生産技術	県	20	花き
5 アジサイ、シクラメンの小鉢化の検討	県	20	花き
6 メタンの大幅削減を目指した水稻栽培方式におけるイネ主要病害虫の発生消長	県	20	病虫
7 家畜ふん尿由来の肥料の追肥利用技術の検討 (プールレンコン栽培の鶏ふんペレット堆肥利用)	県	20	土環
8 感水紙からの農薬ドリフト量推定法の検討	県	20	土環
9 高品質でうどんこ病耐性の出雲メロンの育成	県	20	特開
10 トウガラシ優良系統の選抜	県	20	特開
11 経営発展型組織と地域貢献型組織の実態分析による新たな集落営農モデルの策定	県	20	企画
12 イオウ燻蒸を用いないあんぼ柿加工方法の開発	県	20	加工

注) 丸付き数字は重点課題。予算欄の「国」は国庫補助、「県」は県費、「受」は受託試験。期間欄の元号のないものは平成。企画：企画調整S、作物：作物G、特開：特産開発G、野菜：野菜花きG、果樹：果樹G、干拓：干拓営農S、病虫：病虫G、土環：土壌環境G